

建住政第 178 号
平成 28 年 5 月 11 日

横浜市住宅政策審議会
会 長 様

横浜市長 林 文 子

諮 問

次の事項について、調査審議いただきたく諮問します。

1 諮問事項

活力と魅力あふれ安全で持続可能なまちの実現に向けた、今後の住宅政策の展開について

2 諮問理由

横浜市の人口は、少子高齢化の進展により、2019年にピークを迎え、その後減少に転じることが見込まれています。また、家族構成の変化、地域のつながりの希薄化、都市インフラの老朽化、自然災害への対応、環境・エネルギー問題など、市民生活を取り巻く環境は大きく変化しています。

横浜市は、平成24年3月に、「ひと・すまい・くらしがつながり、活力と魅力あふれる持続可能なまち よこはま」を基本理念とした、横浜市住生活基本計画を策定し、本計画に基づき住宅政策を推進してきました。

その中で、子育て世帯から高齢者まで多様な世帯や世代が交流するとともに、それぞれの居住ニーズに応じた住まい方を実現すること、民間賃貸住宅を含めた重層的な住宅セーフティネットの構築、空家を含めた既存住宅ストックの再生や利活用の促進、大規模団地をはじめとした住宅の老朽化等により活力の低下が懸念されている郊外住宅地の再生、自然災害への対応など、更なる取組が求められています。

また、横浜市住生活基本計画は策定から概ね5年を迎えているため、住まいや住環境の変化に合わせ、計画を見直す必要があります。

そこで、このような状況を踏まえ、活力と魅力あふれ安全で持続可能なまちの実現に向け、本市における今後の住宅政策の展開について諮問します。